

平成28年 9月15日

部会会員 各位

一般社団法人 近畿化学協会
エレクトロニクス部会
部会長 安蘇 芳雄

平成28年度第2回研究会 ご案内

拝啓 時下ますますご清祥の段お慶び申し上げます。

平素より本部会の運営に際しましては、種々ご高配を賜わり厚く御礼を申し上げます。

さて、早速ながら標記研究会を下記の通り開催致しますので、業務ご多繁のところ恐縮ながら、ご都合お繰り合わせのうえご参集下さいますようご案内申し上げます。

敬具

(記)

日時 平成28年9月26日(月) 14:00~18:30

会場 大阪科学技術センター 7階701号室 (大阪市西区靱本町1-8-4、電話06-6443-5324)

<交通>地下鉄四つ橋線「本町駅」下車、25・28番出口より北へ徒歩約5分、うつぼ公園北詰。

テーマ：衣と食の最先端技術

1. 講演<質疑応答10分程度含む>

1) 「衣」関連：蜘蛛の糸のサイエンス (14:00~15:00)

奈良県立医科大学名誉教授 大崎 茂芳 氏

クモの糸は21世紀になって注目を浴びてきた。クモの糸は「なぜ夢の繊維と言われるのか？」に始まり、「20世紀にはなぜ無視されてきたのか?」、「クモの糸は繊維として特徴はどこか?」、また、「多くの人がクモの糸に関心を持つわけとは?」、さらに、「クモの糸の遺伝子工学手法はどこまで進展しているのか?」などについて話をする。

2) 「食」関連1：半導体技術により作製したマイクロチップ型の農業用センサ (15:05~16:05)

豊橋技術科学大学電気・電子情報工学系 教授

同 エレクトロニクス先端融合研究所所長 澤田 和明 氏

食物の安全や農作物の生産性の向上、農業従事者の負担低減のためには、農業におけるさまざまな情報の活用がとて重要になってきている。本講演ではSi半導体技術を活用して土壌環境情報をリアルタイムで測定できるマイクロチップ型センサについて紹介する。

3) 「食」関連2：地域の特産物を活用した機能性食品の開発

～みかんポリフェノール/柿ポリフェノールの利用～ (16:10~17:10)

近畿大学農学部 教授 米谷 俊 氏

「食品の機能性」の概念は、日本が世界に先駆けて提唱したもので、それ故、機能性食品の研究開発では世界をリードしている。日本は超高齢社会を迎え、生活習慣病を予防し健康寿命を延伸して、豊かな老後を実現するため、食品の機能を利用しようとしている。本研究では、奈良(地元)の特産品である柿の機能成分、ポリフェノールを利用し、健康の増進に貢献すると共に、地域の活性化に繋げることを目指している。

2. 懇親会 (17:15~18:30頃) 於：同所 地下1階B101号室 会費：3,000円 (当日お支払い下さい)

*講師の先生を囲みアフターディスカッションを行います。

申込・問合せ先 一般社団法人近畿化学協会エレクトロニクス部会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階

Tel. 06-6441-5531 Fax. 06-6443-6685 E-mail: fujita (atmark) kinka.or.jp

近畿化学協会エレクトロニクス部会平成28年度第2回研究会 (H28.9/26) 参加申込書

参加者氏名		懇親会	参加 () / 不参加 ()
勤務先(所属)			
連絡先	〒		
	TEL.	E-mail :	
連絡事項			